

令和3年度
(2021年度)

事業報告書

及び

計算書類・財産目録

社会福祉法人 大阪狭山市社会福祉協議会

目 次

令和3年度

1. 事業報告書	・ ・ ・	1
2. 計算関係書類		
(1) 法人全体		
・ 資金収支計算書	・ ・ ・	5 3
・ 事業活動計算書	・ ・ ・	5 5
・ 貸借対照表	・ ・ ・	5 7
・ 計算書類に対する注記	・ ・ ・	5 8
(2) 社会福祉事業		
・ 社会福祉事業区分 資金収支内訳表	・ ・ ・	6 1
・ 社会福祉事業区分 事業活動内訳表	・ ・ ・	6 3
・ 社会福祉事業区分 貸借対照表内訳表	・ ・ ・	6 5
(3) 拠点区分計		
・ 社協事業拠点区分 資金収支計算書	・ ・ ・	6 6
・ 社協事業拠点区分 資金収支明細書	・ ・ ・	7 2
・ 社協事業拠点区分 事業活動計算書	・ ・ ・	7 8
・ 社協事業拠点区分 事業活動明細書	・ ・ ・	8 4
・ 社協事業拠点区分 貸借対照表	・ ・ ・	8 9
・ 計算書類に対する注記	・ ・ ・	9 0
・ 高齢者事業拠点区分 資金収支計算書	・ ・ ・	9 2
・ 高齢者事業拠点区分 資金収支明細書	・ ・ ・	9 8
・ 高齢者事業拠点区分 事業活動計算書	・ ・ ・	1 0 4
・ 高齢者事業拠点区分 事業活動明細書	・ ・ ・	1 1 0
・ 高齢者事業拠点区分 貸借対照表	・ ・ ・	1 1 5
・ 計算書類に対する注記	・ ・ ・	1 1 6
・ 障がい者事業拠点区分 資金収支計算書	・ ・ ・	1 1 8
・ 障がい者事業拠点区分 資金収支明細書	・ ・ ・	1 2 4
・ 障がい者事業拠点区分 事業活動計算書	・ ・ ・	1 3 0
・ 障がい者事業拠点区分 事業活動明細書	・ ・ ・	1 3 6
・ 障がい者事業拠点区分 貸借対照表	・ ・ ・	1 4 1
・ 計算書類に対する注記	・ ・ ・	1 4 2
3. 財産目録	・ ・ ・	1 4 4

令和3年度 大阪狭山市社会福祉協議会事業報告書

1. 会議及び研修等

【1】理事会

第1回理事会 ※書面審議にて開催（令和3年5月31日）

1. 顧問の委嘱について
2. 令和2年度(2020年度)事業報告及び決算並びに監査報告について
3. 令和3年度補正予算（案）について
4. 理事・監事選任候補者について
5. 評議員選任候補者の推薦について
6. 定時評議員会の開催について
7. 評議員選任・解任委員会の開催について

第2回理事会 令和3年6月19日（土）

1. 会長・副会長及び常務理事の選定について
2. 顧問の委嘱について
3. 各種委員会の委員の承認について
4. 評議員選任・解任委員の選任について

第3回理事会 令和4年3月18日（金）

1. 経理規程の一部を改正する規程について（令和3年4月施行）
2. 令和3年度第2次補正予算について
3. 定款の一部を改正する定款について
4. 処務規程の一部を改正する規程について
5. 経理規程の一部を改正する規程について（令和4年4月施行）
6. 令和4年度事業計画及び予算書（案）について
7. 評議員会の開催について
8. 役員等賠償責任保険の契約について

【2】評議員会

第1回評議員会 ※書面審議にて開催（令和3年6月19日）

1. 令和2年度(2020年度)事業報告及び決算並びに監査報告について
2. 令和3年度補正予算（案）について
3. 役員（理事・監事）の選任について

第2回評議員会 令和4年3月26日（土）

1. 議事録署名人について
2. 経理規程の一部を改正する規程について（令和3年4月施行）
3. 令和3年度第2次補正予算について
4. 定款の一部を改正する定款について
5. 処務規程の一部を改正する規程について
6. 経理規程の一部を改正する規程について（令和4年4月施行）
7. 令和4年度事業計画及び予算書（案）について

【3】評議員選任・解任委員会

第1回評議員選任・解任委員会 令和3年6月19日（土）
1. 評議員の選任について

【4】監査

- (1) 令和2年度監査
実施日：令和3年5月18日（火）
- (2) 令和3年度中間監査（上半期分）
実施日：令和3年11月30日（火）

【5】諸会議

- (1) 地区福祉委員会委員長連絡会
- (2) 善意銀行運営委員会
- (3) 広報委員会

【6】大阪府社協並びにブロック会議参加

- (1) 市町村社協連合会会長・事務局長合同会議
- (2) 河南ブロック社協連絡会

【7】研修会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施せず。

2. 事業

【1】大阪狭山市地域福祉活動計画の推進

大阪狭山市と大阪狭山市社会福祉協議会が一体的に策定した、「第4次大阪狭山市地域福祉計画・大阪狭山市地域福祉活動計画」に基づき、地域福祉の推進を図った。

【2】地区福祉委員会活動への支援

社会福祉協議会の内部組織である9つの地区福祉委員会が推進する地域福祉活動の実施について支援を行った。また、支援において新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮し、感染リスクの高い多人数が集まる事業等については開催を見合わせた。

- (1) 地区福祉委員会への支援
- (2) 地区福祉委員会の活動助成
- (3) 地域福祉活動実施計画の策定支援及び計画に基づく活動支援
- (4) 小地域ネットワーク活動新任研修会の実施

【3】小地域ネットワーク活動推進事業

地域のひとり暮らし高齢者、障がい者、子育て中の親子など、支援を必要とする人が安心・安全に生活できるよう、各地区福祉委員会が中心となって、地域住民が主体的に実践する、支え合い・助け合い活動の推進を図った。

また、新しく活動に携わる方々を対象にした「新任研修会」を開催した。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、活動を中止及び活動内容を変更して実施した支部もあった。

(1) 見守り訪問活動

住民による住民相互の見守り活動として、おおむね65歳以上のひとり暮らしの人や要援護者に対し、見守りや声かけ、話し相手、簡単な用事の手伝いなど、日常生活の中で出来る範囲の活動を行い、住民同士のつながりを深めた。

地区名	支部名	ボランティア登録数	ひとり暮らし		その他		合計	
			対象者	延訪問回数	対象者	延訪問回数	対象者	延訪問回数
狭山地区	狭山コーポ	9人	16人	1,048回	0人	0回	16人	1,048回
半田地区	金剛1丁目	15人	6人	279回	0人	0回	6人	279回
	川向	15人	7人	436回	0人	0回	7人	436回
茱萸木地区	茱萸木	31人	7人	86回	9人	134回	16人	220回
南第一地区	ニュータウン	25人	8人	48回	5人	30回	13人	78回
南第二地区	大野台1丁目	18人	4人	78回	0人	0回	4人	78回
	大野台3丁目	26人	29人	1,304回	0人	0回	29人	1,304回
	大野台4丁目	16人	38人	1,776回	0人	0回	38人	1,776回
	大野台5/6丁目	29人	52人	1,591回	2人	40回	54人	1,631回
	大野台7丁目北	5人	2人	192回	0人	0回	2人	192回
合計 5地区10支部		189人	169人	6,838回	16人	204回	185人	7,042回
(前年度) 5地区11支部		207人	152人	7,193回	22人	264回	174人	7,457回

(2) 食事サービス

おおむね65歳以上のひとり暮らしの人及び70歳以上の高齢者のみの世帯、重度の心身障がい者世帯に対し、配食や会食会を通して地域住民同士の交流、食生活の維持向上を支援した。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため会食から配食に切り替えて実施した支部もあった。

	地区名	支部名	開始時期	対象者(登録)数	実施回数	延べ食数
配食	西地区	岩室	H22/4	58人	1回	25食
	半田地区	金剛1丁目	H11/12	30人	12回	343食
	南第二地区	大野台3丁目	H28/4	67人	8回	80食
	南第三地区	府営南	H11/12	44人	4回	128食
	小計①	4地区4支部		199人	25回	576食
	(前年度)	5地区5支部		202人	24回	843食

	地区名	支部名	開始時期	対象者(登録)数	実施回数	延べ食数
会食	東地区	東野大鳥池	H25/5	19人	25回	272食
	狭山地区	狭山コーポ	H8/7	21人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
		狭山中	R1/9	21人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
		遊園ハイツ	H25/6	25人	5回	92食
	西池地区	自由丘	H10/9	27人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
		池尻	H13/2	26人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
		南海狭山住宅	H30/11	41人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
	西地区	藤和さやまハイタウン	H29/9	49人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
	半田地区	南海金剛住宅	H12/6	26人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
		金剛1丁目	H11/12	30人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため配食	
		川向	H14/4	47人	2回	58食
	茱萸木地区	茱萸木	H12/3	17人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
	南第一地区	ニュータウン	H12/6	55人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
		府営北	H11/11	45人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
	南第二地区	大野台3丁目	H28/4	67人	4回	168食
		大野台4丁目	H9/10	57人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
大野台5/6丁目		H15/3	38人	2回	36食	
大野台7丁目		H15/1	18人	12回	193食	

	南第三地区	府営南	H11/12	44人	6回	171食
		公団	H11/12	30人	4回	71食
	小計②	5地区8支部		703人	60回	1,061食
	(前年度)	5地区8支部		761人	53回	857食
	合計(①+②)	6地区10支部		※761人	85回	1,637食
	(前年度)	6地区10支部		※815人	77回	1,700食

※配食・会食の重複者を除く

(3) サロン活動

人と人とのつながりの希薄化が言われる中、高齢者や障がい者の方、子育て中の親子などが、地域での孤立を防ぎ、コミュニケーションを築くために、地区集会所など身近な場所で地域住民やボランティアと協働で交流できる居場所を提供した。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のためサロン活動を中止及び活動内容を変更して実施した支部もあった。

<高齢者サロン>

地区名	支部名	実施回数	延参加人数	延ボランティア数	主な内容
東地区	東野	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止			
	東池尻	10回	88人	67人	演奏会、クイズ、防犯説明会、頭の体操、映像鑑賞会
	東野 大鳥池	51回	307人	58人	ラジオ体操、歌合唱、喫茶、頭の体操、喫茶ちょべりば
狭山地区	狭山コーポ	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止			
	狭山中	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止			
	狭山西	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止			
	遊園ハイツ	7回	132人	54人	談笑、カラオケ、会食会、脳トレ、体操、ビンゴ大会
	レークハイツ	5回	52人	11人	いきいきサロン茶話会、クリスマス会、リース作り
	グラントハイツ	15回	134人	30人	茶話会、クリスマス会、百歳体操
西池地区	自由丘	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止			
	池尻	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止			
	南海狭山住宅	31回	400人	90人	いきいき百歳体操、全身・体幹トレーニング

西地区	岩室	1回	15人	2人	クリスマスプレゼント配布
	山伏	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止			
	口大野	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止			
	藤和さやま ハイタウン	2回	170人	15人	書き初め大会、イルミネーション点灯式
	下今熊 狭山台	3回	21人	17人	茶話会
	緑ヶ丘	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止			
半田地区	南海金剛 住宅	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止			
	金剛1丁目	16回	164人	55人	健康体操、詩吟
	半田東村	60回	322人	0人	いきいき百歳体操、グラウンドゴルフ
	川向	24回	359人	82人	グラウンドゴルフ、地区交流茶話会(朝市)、カラオケ
	前田	13回	113人	38人	いきいき体操
	北村	10回	101人	30人	いきいき百歳体操、カラオケ
	浦之庄	57回	520人	114人	グラウンドゴルフ
	ライオンズ マンション金剛	4回	48人	18人	制作活動、マジックショー、出前講座
茱萸木 地区	茱萸木	1回	16人	31人	サロン参加者にお菓子を配布
南第一 地区	ニュータウン	6回	145人	21人	歌声サロン、早朝喫茶、ビンゴゲーム
	桜ヶ丘	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止			
	ガーデンハム	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止			
	府営北	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止			
	ディオフェルティ	7回	47人	14人	ゆるりカフェ
南第二 地区	大野台 1丁目	24回	174人	128人	みなくるカフェ、地藏盆、掃除お茶会、麻雀教室
	大野台 3丁目	8回	336人	72人	お家サロン(脳トレなどの本を提供)、自治会館での弁当配布時の交流
	大野台 4丁目	36回	376人	0人	囲碁、麻雀、パソコン

南第二 地区	大野台 5/6丁目	9回	169人	42人	苔玉・多肉植物を楽しむ、いきいき百歳体操、落語を楽しむ会、脳トレ問題、寄せ植え、ギター演奏
	大野台 7丁目	3回	36人	6人	映画鑑賞
	大野台 7丁目北	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止			
	大野	195回	1,587人	374人	グラウンドゴルフ、茶話会、ゲートボール、親子交流会
南第三 地区	府営南	4回	117人	39人	ビンゴゲーム、合唱、意見交換会
	公団	4回	71人	48人	茶話会
	グリーンコーポ 狭山	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止			
計 9地区27支部		606回	6,020人	1,456人	
(前年度)9地区42支部		646回	6,455人	1,495人	

<子育てサロン>

地区名	支部名	実施回数	延参加人数	延ボランティア数	主 な 内 容
東地区	東野	8回	86人	13人	交流会、お話の会、子育て講座 ヨガ、リス園遠足、クリスマス会、お別れ会
	東池尻	10回	269人	28人	水遊び、絵本ライブ、ハロウィン、英語、クリスマス会、リトミック、手形・足形とり、お別れ会
狭山地区	狭山西	6回	77人	18人	子育て講座、交流会、クリスマス会
西池地区	自由丘	10回	129人	27人	運動会ごっこ、交流会、水あそび、講座、ハロウィン、クリスマス、お別れ会
	池尻	19回	147人	19人	本貸し出し、読み聞かせ、カード作り、おしゃべり、クリスマス会、折り紙、切り紙、紙ひこうき、ブーツ作り
半田地区	川向	8回	129人	10人	交流会、リトミック、ハロウィン、遠足、クリスマス制作、子育て講座・クリスマス、学習会
計 4地区6支部		61回	837人	115人	
(前年度)4地区6支部		61回	907人	83人	

(4) グループ援助活動支援

小地域ネットワーク活動のグループ援助活動(ふれあい会食サービス、サロン活動)を安心して行ってもらえるよう行事保険に加入した。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため活動を自粛した支部が多かったことにより、昨年度同様、保険加入数が例年に比べ減少した。

<高齢者サロン>

地区名	支部名	回数(回)	人数(人)	地区名	支部名	回数(回)	人数(人)
東地区	東池尻	12	510	南第一地区	府宮北	1	20
	東野大鳥池	67	1,340		ディオフェルティ	6	120
狭山地区	遊園ハイツ	6	120	南第二地区	大野台1丁目	18	360
	レークハイツ	2	45		大野台3丁目	4	175
西池地区	南海狭山住宅	30	600		大野台4丁目	38	760
西地区	岩室	2	50		大野台5/6丁目	4	125
	下今熊狭山台	3	60		大野台7丁目	38	760
半田地区	金剛1丁目	15	300	南第三地区	府宮南	7	286
	前田	13	260		公団	3	110
	浦之庄	59	1,180	計8地区	20支部	333	7,306
	ライオンズマンション金剛	5	125	※(前年度)7地区18支部 277回 6,073人			

<子育てサロン>

地区名	支部名	回数(回)	人数(人)	地区名	支部名	回数(回)	人数(人)
東地区	東野	3	60	西池地区	自由丘	11	220
	東池尻	10	200		池尻	6	120
狭山地区	狭山西	8	320	半田地区	川向	9	360
				計	4地区6支部	47	1,280

※(前年度) 4地区6支部 62回 1,765人

(5) ボランティア活動支援

小地域ネットワーク活動に携わるボランティアに対し、ボランティア保険に加入した。

<高齢者サロン>

(単位：人)

地区名	支部名	ボランティア数	地区名	支部名	ボランティア数
東地区	東野	15	半田地区	川向	43
	東池尻	17		北村	6
	東野大鳥池	7		前田	4
狭山地区	狭山コーポ	13		浦之庄	3
	狭山中	6		ライオンズマンション金剛	6
	狭山西	0	茱萸木地区	茱萸木	31
	遊園ハイツ	8	南第一地区	ニュータウン	25
	レークハイツ	0		桜ヶ丘	10
	グランドハイツ	2		ガーデンハイム	10
西池地区	自由丘	6		府営北	24
	池尻	13	ディオフェルティ	24	
	南海狭山住宅	6	南第二地区	大野台1丁目	18
西地区	岩室	6		大野台3丁目	43
	山伏	9		大野台4丁目	26
	口大野	6		大野台5・6丁目	29
	藤和さやまハイタウン	23		大野台7丁目	11
	下今熊狭山台	8		大野台7丁目北	5
	緑ヶ丘	4	大野	12	
半田地区	南海金剛住宅	27	南第三地区	府営南	12
	金剛1丁目	15		公団	27
	半田東村	0		グリーンコーポ狭山	10
計 9地区39支部					570

※(前年度) 9地区43支部 564人

<子育てサロン>

(単位：人)

地区名	支部名	ボランティア数
東地区	東池尻	12
狭山地区	狭山西	2
西池地区	池尻	2
計	3地区3支部	16

※(前年度) 2地区2支部 14人

(6) 目くばり気くばり思いやり運動

ひとり暮らし、ねたきり高齢者を対象に、老人クラブのメンバーによる友愛訪問として声かけ等の安否確認を行った。

対象者数：ひとり暮らし、ねたきり高齢者 233人
※(前年度) 232人

友愛訪問者数：14単位老人クラブ 173人
※(前年度) 14単位老人クラブ 173人

(単位：回)

項目	声かけ	不在	話し相手	軽微な用件	計
ひとり暮らしの人	5,934	408	2,016	782	9,140
ねたきりの人	0	0	0	0	0
計	5,934	408	2,016	782	9,140
(前年度)	5,835	408	1,919	842	9,004

(7) ウイズコロナポストコロナに対応した地域活動モデルの開発

大阪府福祉基金地域福祉振興助成金を活用し、地域福祉活動を支える担い手（ボランティア）や人と人とのつながりを求める住民に対し、ICTによる新たな地域の「つながり」づくりの推進を図った。

① Zoomの使い方講座 ～地域の新たな「つながり」づくり～
ICTを推進する人材育成を目的とした養成講座を開催した。

○1期目

実施日：令和3年10月15日（金）、22日（金）、29日（金）
場 所：さやま荘
内 容：Zoomの使い方、地域福祉活動での活用方法など
参加者：18名

○2期目

実施日：令和4年3月2日（水）、9日（水）
場 所：さやま荘
内 容：Zoomの使い方、地域福祉活動での活用方法など
参加者：10名

② Zoomの使い方講座のフォローアップ研修
Zoomならなれのつどい ～地域の新たな「つながり」づくり～
講座で学んだことを試してみる実践交流ミーティングを開催

○1期目

実施日：令和3年11月 9日（火）、17日（水）、25日（木）
29日（月）
場 所：各自宅等
内 容：Zoomの使い方講座受講者を対象に、「習うより慣れろ」をテーマにした実践交流
参加者：延べ18名

○2期目

実施日：令和4年3月15日（火）、23日（水）、28日（月）

場 所：各自宅等

内 容：Zoomの使い方講座受講者を対象に、「習うより慣れろ」をテーマにした実践交流

参加者：延べ31名

【4】権利擁護センター事業(日常生活自立支援事業)

認知症・知的障がい・精神障がい等により、判断能力にハンディキャップのある人に、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理を行うことにより、住み慣れた地域で安心して生活が送れるよう支援した。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため利用者への訪問は極力控え、電話での対応を行った。

対 象 区 分	認知症	知的	精 神	その他	計
	高齢者	障がい者	障がい者		
利 用 者 数(人)	4 (5)	9 (9)	21 (21)	0 (0)	34 (35)
新規契約件数(件)	1 (1)	1 (0)	1 (2)	0 (0)	3 (3)
終 了 件 数(件)	2 (2)	1 (1)	1 (2)	0 (0)	4 (5)
相談援助件数(件)	138 (194)	164 (192)	653 (796)	20 (9)	975 (1,191)
利用者活動件数(件)	68 (125)	157 (188)	513 (570)	0 (0)	738 (883)
契約前活動件数(件)	4 (7)	0 (0)	11 (26)	6 (3)	21 (36)

※()内は前年度実績

【5】日常生活自立支援事業のより円滑な実施に向けた、中核機関としての実践への助成事業

大阪府社会福祉協議会の助成金を活用し、司法・福祉・医療などの専門職のネットワーク構築に向け、病院のMSW・相談支援センター、地域活動支援センター、各ケアマネ事業所の職員・市職員等の専門職を対象に成年後見制度利用促進研修会を開催し、成年後見制度の概要等と成年後見制度と日常生活自立支援事業との違いについての共有を行った。

また、関係機関等に成年後見制度の啓発チラシを配布し、成年後見制度の利用促進を行ったり、成年後見制度や日常生活自立支援事業についての相談支援を行った。

①専門職のための成年後見制度利用促進研修会(オンライン研修)

実施日：令和4年2月4日(金)

場 所：各事業所等(オンライン)

内 容：・成年後見制度の概要、申立てから後見事務が始まるまでの流れ等
・成年後見制度と日常生活自立支援事業との違い

講 師：・リーガルサポート大阪支部

司法書士法人 平野・寶意事務所 司法書士 寶意 直典

・権利擁護センター 職員

②成年後見制度利用促進のための啓発チラシ

○配布先：居宅介護支援事業所・相談支援センター・公民館・図書館
市役所等に配布

③相談支援 22件

【6】ヒューマン・ケア事業

日常生活上、家事等に支障をきたす高齢者や障がい者(児)、父子、母子世帯等に有料で協力会員を派遣し、在宅福祉の向上を図った。

利用会員登録者数： 59人(令和4年3月31日現在) ※(前年度 44人)

協力会員登録者数： 38人(") ※(前年度 31人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
派遣回数(回)	55	48	69	63	56	53
派遣時間(時間)	63.5	58.5	84.5	67.5	58	70.5

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	(前年度)
派遣回数(回)	64	64	68	51	46	65	702	722
派遣時間(時間)	67.5	64.5	86.5	52	46.5	85.5	805	776.5

【7】福祉協力校事業

市内の小・中・高等学校を福祉協力校に指定し、福祉教育・学習機会の提供と、体験交流活動を推進した。また、福祉の心を育む機会を拡充するとともに、学童・生徒を通じて家庭及び地域社会に福祉に関する啓発を図った。

指 定 校	主 な 事 業 内 容
北小学校	1. 学校美化活動 2. 栽培緑化活動 3. 手話体験 4. 車いす体験 5. アイマスク体験 6. 赤い羽根共同募金活動 7. 児童会行事北子どもまつり 8. 認知症声かけ訓練(5・6年) 9. あいさつ運動
東小学校	1. あいさつ運動 2. 縦割り班活動 3. 生活委員会による「友だちのええとこ見つけ活動」 4. アイマスク・車いす体験 5. 募金活動(赤い羽根) 6. 校内および地域清掃 7. PTA美化活動 8. 児童会による全校行事(クイズラリー) 9. 全校お話し会
西小学校	1. 市内小・中学校支援学級との交流会 2. 募金活動(緑の羽根、赤い羽根) 3. 地域の高齢者と学校周辺の美化活動 4. 支援学級お話し会 5. 縦割り交流(わくわく祭り) 6. 体育的行事 7. 校区清掃ボランティア活動 8. 地域の方と奉仕作業(6年生) 9. 車いす体験・アイマスク体験
南第一 小学校	1. 赤い羽根共同募金活動 2. 縦割り学習 3. 車いす体験・アイマスク体験(4年) 4. 学校美化作業 5. 点字学習 6. 異学年交流 7. 認知症声かけ訓練(6年) 8. 校内環境整備活動(6年生) 9. 栽培活動 10. 環境学習(4年生) 11. 支援学級担任による啓発授業
南第二 小学校	1. 赤い羽根共同募金活動 2. 校内クリーン作戦 3. クラブ・委員会活動(4・5・6年) 4. 米づくり(5年) 5. 地域のバス停にプランター設置 6. 地域の福祉施設とオンライン交流 7. 大野ぶどうづくり(3年)
南第三 小学校	1. 募金活動(緑の羽根、赤い羽根) 2. なかよし交流 3. 障がい者理解教育 4. 花の植え替え 5. 学校美化活動 6. 学校周り清掃活動(PTA、地域) 7. こども園との交流、共同避難訓練 8. 縄跳び交流(全学年) 9. 卒業生奉仕作業 10. 地域の方々と給食交流会 11. 支援学級との交流 12. 異学年交流 13. 緊急下校の引き渡し共同訓練 14. 手話、点字の学習、盲導犬の学習 15. 認知症理解 16. 学校美化活動 17. 三小フレンドパーク 18. 古紙、ブルトップ、インクカートリッジのリサイクル活動
第七小学校	1. 募金活動(緑の羽根、赤い羽根) 2. 支援教育についての教員研修 3. 環境整備・栽培活動 4. 花壇整備 5. 認知症講座 6. 絵本の読み聞かせ 7. 地域清掃「みんなの地域清掃」 8. 田植え体験・稲刈り体験 9. 芋ほり体験
南中学校	1. 赤い羽根共同募金活動 2. ポッチャ体験学習 3. 学校周辺の清掃活動 4. 手話体験学習 5. 点字体験学習 6. 命の授業(マタニティ体験) 7. 防災学習講演会 8. 平和学習 9. 部落問題学習 10. 国際理解学習 11. LGBT講話 12. 障がい者理解学習
狭山中学校	1. 人権学習の充実 2. 地域の防災学習 3. 募金活動(赤い羽根、ユネスコ) 4. 障がい者理解体験学習(車いす・アイマスク ・点字・手話・高齢者等) 5. 平和学習 6. 校区内清掃活動 7. 近隣地域とのふれあい活動へ参加(あいさつ運動・交通安全 指導など) 8. LGBT講話 9. 命の事業(性教育含む) 10. パラスポーツを通じての学習(ゴールボール、車いすアメフト) 11. 職場体験学習(リモート形式)
第三中学校	1. 赤い羽根共同募金活動 2. 三中校区一斉美化活動へ参加 3. 障がい者・児理解教育 4. クリーンアップ作戦 5. 花いっぱい運動 6. 情報モラル講演会 7. LGBT学習・講演 8. 平和学習(3年) 9. 国際理解学習(1年) 10. 進路選択学習 11. 防災学習講演会 12. 男女共生学習
狭山高等学 校	1. あいさつ運動 2. 市内・近隣地域への福祉施設訪問(吹奏楽部、ダンス部、軽音楽部、音楽部など) 3. PTA人権研修 4. クリーンアクションへの参加 5. 障がい者理解授業(車いす体験) 6. 高齢者理解授業 7. 献血活動への協力 8. 「さやま元気っこクラブ」の学生ボランティア 9. 市立図書館・社会教育センターとの協力事業 10. 人権学習 11. 赤い羽根共同募金活動 12. 栽培活動(PTA) 13. 公民館こどもまつりへの参加

※(前年度) 7小学校、3中学校、1高等学校

【8】ひとり暮らし老人会食会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、毎月の会食会の実施が中止となり外出の自粛要請が続く中、一人暮らしの利用者の安否確認も兼ねて、職員による弁当の配布を実施した。併せて、訪問時に困りごとや不安なこと等の聞き取り調査を行った。

また、11月、12月の間は会食会を実施したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、調理ボランティアグループによる手料理ではなく、弁当に切り替えて会食会を実施し、希薄になっていた利用者同士のコミュニケーションを図り、食べることへの楽しみを提供した。

実施日：月2回（第1班…概ね第1火曜日、第2班…概ね第3火曜日）

実施回数：①配食…20回（第1班10回、第2班10回）

実施月…4月、5月、6月、7月、8月、9月、10月、11月、12月、1月、2月、3月

②会食…4回（第1班2回、第2班2回）

実施月…11月、12月

対象者：市内に身寄りのない65歳以上のひとり暮らしの人

登録者数：51名（令和4年3月31日現在）

食数：延べ449食

※(前年度) 年20回実施 登録者51名 延べ398食

【9】救急医療情報キット配布事業

ひとり暮らし高齢者や障がい者等の自宅での不慮の事故など、緊急時に迅速な救命活動に資するため「大阪狭山救急医療情報キット」を製作・配布し、高齢者や障がい者等の安心と安全の確保に努めた。

(単位：個)

配布対象者	昨年度までの配布数	今年度配布数	配布数
65歳以上のひとり暮らしの世帯	1,757	50	1,807
65歳以上の高齢者だけの世帯	231	28	259
日中や夜間に65歳以上でひとりになる世帯	51	4	55
日中や夜間に65歳以上の高齢者だけになる世帯	47	0	47
障がい者手帳を保持している人	63	5	68
特定疾患医療受給者証を保持している人	14	0	14
その他	1	2	3
計	2,164	89	2,253

【10】 ボランティアセンター事業

ボランティア活動に関する相談や情報提供、登録・仲介・連絡調整を行うとともに、ボランティアの人材育成や活動を支援し、ボランティア活動の推進を図った。

(1) 登録者数

36グループ 526人 (令和4年3月31日現在)

個人登録 41人 (")

※(前年度) 34グループ 501人 個人登録 35人

(2) 啓発宣伝

おおさかさやまボランティアだよりの発行 (年3回発行・全戸配布)

第102号: 6月1日、第103号: 10月1日、第104号: 2月1日

※(前年度) 3回発行

(3) 会議

①ボランティアグループ連絡会 総会

②ボランティアグループ連絡会 定例会 (毎月第3金曜日)

③ボランティアグループ連絡会 役員会

(4) 需給調整

①相談受付内容別件数

(単位: 件)

内 容 \ 相 談 先	件 数	個 人	ボランティ ア グループ	団 体 ・ そ の 他
活動希望	17	16	1	0
派遣依頼	20	3	0	17
会場・機材の貸し出し	37	0	36	1
情報提供など	115	22	53	40
計	189	41	90	58
(前年度)	195	30	81	84

②派遣依頼内容別件数

(単位: 件)

依 頼 先 \ 依 頼 内 容	社協	行政 公的機関	学校	施設 病院	団体 関係機関	自治会 住民組織	個人	計
イベント・行事協力	0	0	0	1	1	6	0	8
一時保育	0	0	0	0	0	0	0	0
外出介助・傾聴・自助具	1	0	0	1	0	0	3	5
点訳・朗読・手話通訳	0	0	6	0	0	0	0	6

その他(V講師等)	2	1	4	2	2	0	0	11
計	3	1	10	4	3	6	3	30
(前年度)	3	15	5	5	5	4	3	40

(5) ボランティア養成講座

市民のボランティア活動への関心を高めるため、各種講座を開催し、ボランティア活動へ参加するきっかけをつくり、また、ボランティアの人材発掘と育成を行った。

① ボランティアジュニアスクール

市内の小学生を対象に、子どもたちが自主的・主体的なボランティア活動に取り組めるよう、グループ活動を通してコミュニケーション能力の向上と、ボランティア活動の楽しさを感じてもらうことを目的に実施した。

○夏のボランティアジュニアスクール

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

○春のボランティアジュニアスクール

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

② ごちゃまぜ縁日（1回開催）

市内の小学生を対象に、子どもたちの人へ対する思いやりの心を育み、様々な人と出会い多様性を学ぶきっかけづくりを目的にボランティア体験や交流会を実施した。（市立公民館共催事業）

実施日：令和3年11月7日（日）

場 所：公民館

内 容：小学生を対象としたボランティア体験・交流会。公民館3階フロアを周り、主に市内で活動する団体の会員と交流を図りながら、ボランティア体験やワークショップを行った。

参加者（子ども）：16人

参加団体協力者：28人

③ 手話ボランティア養成講座

手話ボランティア活動に必要な知識・技術を習得するとともに、聴覚障がい者への理解・認識を深めた。

実 施 日：令和3年4月6日～令和4年3月29日

毎週火曜日（全41回）※時間数は42回分

講 師：片桐 多鶴子 氏

補助講師：前田 育子 氏・子安 由美 氏

場 所：公民館 講習室

受 講 者：15人

※(前年度) 受講者20人（コロナ禍による部屋の人数制限で定員削減）

④手話奉仕員レベルアップ講座

手話通訳奉仕員養成講座修了程度の知識、技術の習得者に対して、さらなる基礎力の強化を図る講座を実施し、受講者のスキルアップと地域の聴覚障がい者等の自立と社会参加を促進した。

実施日：令和3年7月7日～令和3年9月15日

毎週水曜日（全10回）

講師：中塚 智雄氏、時岡 滋樹氏(公益社団法人 大阪聴力障害者協会)

場所：公民館 集会室1

受講者：18人

(6) ボランティア交流会

ボランティア活動に取り組む方やボランティアに関心のある方を対象に、気軽に交流・情報交換をすることができる交流会を開催し、ボランティア活動のネットワーク構築を図った。

実施日：令和4年3月25日(金)

場所：さやま荘 多目的室

内容：ボランティアミニ講義、レクリエーション、交流・情報交換

参加者：13人

※(前年度) 参加者18人

(7) ボランティア活動支援助成

大阪狭山市ボランティアセンターに所属するボランティアグループに対し、ボランティア活動の振興と啓発、育成を目的に助成した。

①ボランティア保険掛け金助成 350人(前年度 377人)

②ボランティア活動助成 5件(前年度 5件)

(8) 出前福祉体験事業

大阪狭山市における福祉教育を推進するために、主に小・中・高校生を対象にし、体験や交流を通じて社会福祉に対する理解を深めるための各種福祉教育プログラムを実施した。

(単位：件)

実施先 内 容	件 数	小学校	中学校	高校	その他
車いす体験	3	3	0	0	0
アイマスク体験	3	3	0	0	0
手話体験	6	1	1	4	0
点字体験	2	1	1	0	0
福祉講話	8	3	1	4	0
計	22	11	3	8	0
(前年度)	27	13	8	6	0

【11】 災害ボランティアネット運営事業

大阪狭山市内の各種団体・NPO・企業・学校等を構成団体に、平常時から顔の見える関係づくりを目的に、防災減災に関する取り組みを行った。

(1) 会 議

○検討会議

実施日：令和3年10月8日(金)

場 所：さつき荘 会議室

内 容：・令和3年度 災害ボランティアネットの運営について
・その他

参加者：5人

○定例会

実施日：令和3年10月11日(月)

場 所：コミュニティセンター 大会議室

(Zoom参加を含めたハイブリッド型の会議を実施)

内 容：・委員長・副委員長の選任について
・令和3年度 災害ボランティアネットの運営について
・情報交換
・その他

参加者：23人

(2) 事業

○災害ボランティア入門講座

実施日：令和4年2月27日(日)

場 所：福祉センターさやま荘 大広間

(Zoom視聴参加も可能としたハイブリッド型の講座を実施)

内 容：災害ボランティア入門講座「災害ボランティアについて知ろう！」

講 師：紺屋 仁志氏／社会福祉法人 大阪ボランティア協会

参加者：27人

○災害ボランティアセンター設置運営訓練

実施日：令和4年3月20日(日)

場 所：福祉センターさやま荘 大広間、周辺の児童遊園

内 容：コロナ禍での発災を想定し、被災者支援や災害ボランティアセンターの運営で留意すべき点を確認するとともに、ロールプレイを通じた訓練を行い、災害ボランティアセンターの一連の流れや、被災者に寄り添った支援の在り方を考えた。

講 師：山下 弘彦氏／鳥取県 日野ボランティア・ネットワーク

参加者：28人

○個人ボランティア登録

登録者数：43人(令和4年3月31日現在)

(前年度) 39人

【12】社協“collect(コレクト)”事業

身近なボランティア活動として、また、限りある資源のリサイクル活動として、使用済み携帯電話や入れ歯・小型家電・インクカートリッジ・書き損じハガキ・各種プリペイドカード（テレホンカード等）の回収を行い、収益金は地域福祉事業を進める費用の一部として活用した。

回収ボックスは、市内10カ所の小中学校及び、市役所・公民館・コミセン・さやま荘等に設置した。

【13】広報啓発事業

- (1) 大阪狭山市社協だよりの発行（年3回発行・全戸配布）
第102号：6月1日、第103号：10月1日、第104号：2月1日
- (2) ホームページ、Facebook、YouTubeの運用
実施事業の詳細を伝えられるように、各種事業や地区福祉委員会活動をFacebookへ投稿し、ホームページの内容について適時見直しを行うなど、常に最新の情報を提供するように努めた。また、新しくYouTubeを活用し、動画による情報の提供に取り組んだ。

【14】生活福祉資金貸付事業（大阪府生活福祉資金）

低所得者・障がい者・高齢者世帯、失業や減収等を原因として、生計の維持が困難となった世帯に対し、一時的な経済的支援として低利で必要な資金の貸付、生活再建のための継続的な相談支援を行い、世帯の自立を支援した。

また、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入が減少・失業した世帯に対する貸付制度「新型コロナウイルス感染症特例貸付」の申請受付を行った。

①資金種類別相談件数

(単位：件)

資金種類	電話相談	窓口相談	計	(前年度)
福祉資金	20	17	37	113
緊急小口資金	1	2	3	24
総合支援資金	1	1	2	17
臨時特例つなぎ資金	0	0	0	0
不動産担保型福祉資金	1	0	1	2
新型コロナウイルス特例貸付	1,033	539	1,572	2,969
計	1,056	559	1,615	3,125

②資金種別貸付件数および貸付額

資金種類	件数	貸付額	備考
福祉資金	4件	822,000円	福祉資金4件
緊急小口資金	0件	0円	
総合支援資金	0件	0円	
臨時特例つなぎ資金	0件	0円	
新型コロナウイルス特例貸付 緊急小口資金	184件	36,200,000円	
総合支援資金	183件	112,050,000円	
総合支援資金再貸付	234件	129,750,000円	
計	605件	278,822,000円	

※(前年度)

- ・福祉資金 15件 6,931,000円
- ・小口生活資金 4件 336,000円
- ・総合支援資金 2件 900,000円
- ・臨時特例つなぎ資金 0件 0円

新型コロナウイルス特例貸付

- ・緊急小口資金 384件 72,780,000円
- ・総合支援資金 262件 144,600,000円
- ・総合支援資金(延長) 153件 83,700,000円
- ・総合支援資金再貸付 80件 44,400,000円

合計 900件 353,647,000円

- ・要保護向け不動産担保型生活福祉資金
0件

【15】新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業

緊急小口資金及び総合支援資金の特例貸付を終了した世帯や、再貸付が不承認とされた困窮世帯の生計維持者に対し、自立支援金申請書類及び求職活動書類の受付業務を行った。

①相談件数

(単位：延べ人数)

	電話相談	窓口相談	計
相談件数	227	76	303

②支給件数および支給額

区分	件数	支給額	備考
生活困窮者自立支援(初回)	39件	8,140,000円	
〃 (再支給)	21件	3,240,000円	
計	60件	11,380,000円	

【16】 各種団体への支援

民生委員・児童委員協議会及び関係福祉団体等の事務局として、事務局業務の円滑化を図るとともに、関係福祉団体の活動を支援した。

[関係福祉団体]

- ・老人クラブ連合会
- ・身体障害者福祉協議会
- ・母子寡婦福祉会
- ・遺族会
- ・知的障がい者(児)あんずの会(本人会)
- ・原爆被爆者の会(※令和3年度で解散)
- ・介護者家族の会「たまゆら」

[その他関係団体]

- ・社会福祉施設連絡会
- ・日中活動事業所連絡会

【17】 福祉と人権に関する課題への取り組み

職員の人権意識の向上を図るため、福祉と人権の諸問題について、大阪狭山市人権協会や大阪狭山市企業人権協議会の他、関係団体主催の研修会や講演会(オンライン)に参加した。

今年度は、大阪企業人権協議会の人権リーダー養成講座に参加し、人権リーダーを育成した。

3. 受託事業

【1】心配ごと相談事業

心配ごと相談所を設置して、市民の日常生活における身近な悩みごとや相談に応じ、必要により社会資源を効果的に活用し、適切な助言及び指導、関係機関につなぐなど社会福祉の増進を図った。

相談員：25人（令和4年3月31日現在）

相談日時：第一・第三月曜日（開催延日数24日） 午後1時～4時

相談延件数：3件

相談利用者延数	2人(昨年度6人)																			
相談事項	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	合計
	生計	年金	職業・生業	住宅	家族	結婚	離婚	健康・保健・衛生	医療	人権・法律	財産	事故	児童福祉・母子保健	教育・青少年	障がい者（児）福祉	母子福祉・父子福祉	老人福祉	苦情	その他	
相談延件数(件)	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
(前年度)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3

【2】寝具乾燥サービス事業

自宅での寝具の乾燥が困難な要介護高齢者や障がい者に対し、寝具の乾燥サービスを行い、健康保持と生活環境の向上を図った。

	利用者数 (人)	枚数 (枚)	(内 訳)	
			布団丸洗い乾燥	毛布丸洗い乾燥
上期	6	36	18	18
下期	5	30	15	15
計	11	66	33	33

※(前年度) 利用者12人 72枚

【3】訪問理美容サービス事業

理美容店の利用が困難な要介護高齢者や重度の心身障がい者の人に対し、訪問による理美容サービスを行い、保健衛生の向上とその家族の介護の軽減を図った。

登録者数：20人（令和4年3月31日現在）

（単位：人）

	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	計
利用者数	15	14	15	12	56

※(前年度) 登録者21人 延べ利用者54人

【4】福祉機器貸出事業

市民に対し、車いすやギャッジベッド等の介護機器の貸し出しを行い、家族の介護の軽減など在宅福祉の推進を図った。

また、車いす体験等に取り組んでいる市内の学校や地区福祉委員会等へ貸し出しを行い、福祉教育の推進及び福祉委員の資質向上等に寄与した。

対象		福祉機器	車いす (台)	ベッド (台)	その他	
個人	高齢者		24	0		
	身体障がい者		19	0		
	その他（ケガ等）		6	0		
団体	学校（7校）		74	0	アイマスク 白 杖	… 100個 … 3本
	地区福祉委員会		0	0		
団体	その他関係機関		0	0		
計			123	0	アイマスク 白 杖	… 100個 … 3本

※(前年度)

- ・車いす 171台 ・アイマスク 41個 ・白 杖 0本 ・点字版 89枚
- ・車いす模擬体験コース 0セット

【5】コミュニティソーシャルワーカー設置事業 (狭山中学校区・第三中学校区)

高齢者や障がい者、ひとり親家庭など、何らかの支援を必要とする人への個別相談活動を通して、必要なサービスや制度を紹介し利用を促し、支援に関わる団体や関係機関と連絡・調整を行い、ネットワークづくりを進めた。

(1) 個別相談活動

【延べ件数】

相談対象者	狭山中学校区	第三中学校区	合計件数
高齢者に関すること	605人	239人	844人
・(うち)ひとり暮らし高齢者	(234人)	(75人)	(309人)
・(うち)高齢者のみの世帯	(95人)	(32人)	(127人)
・(うち)上記以外	(276人)	(132人)	(408人)
障がい者に関すること	654人	196人	850人
・(うち)身体障がい者	(4人)	(14人)	(18人)
・(うち)知的障がい者	(0人)	(3人)	(3人)
・(うち)精神障がい者	(650人)	(179人)	(829人)
その他	402人	406人	808人
計	1,661人	841人	2,502人

※(前年度) 2,051人

相談内容	狭山中学校区	第三中学校区	合計件数
福祉制度・サービスに関すること	673件	366件	1,039件
生活に関すること	817件	381件	1,198件
健康・医療に関すること	685件	289件	974件
生活費に関すること	4件	129件	133件
就労に関すること	50件	26件	76件
その他	441件	153件	594件
計	2,670件	1,344件	4,014件

※(前年度) 3,022件

(2) 個別相談以外の活動

活動内容	狭山中学校区	第三中学校区	合計件数
開発した新たなサービス	1件	3件	4件
既存の公的サービス等への紹介	2件	7件	9件
その他(各種団体等への情報提供)	0件	0件	0件
ケース会議	67回	52回	119回
研修会参加	3回	1回	4回
計	73件(回)	63件(回)	136件(回)

※(前年度) 126件(回)

【6】生活支援体制整備事業（生活支援コーディネーター）

生活支援・介護予防サービスの創出に向けて、資源開発や関係者のネットワークの構築に向けたコーディネートを行い、地縁組織等の多様な主体への協力を働きかけ、定期的な情報共有を図る協議体において連携・協働による取組みを推進した。

（1）会議関係

- ・大阪狭山市高齢介護グループとの会議に参加
- ・地域で生活支援を検討する会議に参加
- ・モデル実施する「地域の話し合いの場」に参加
- ・自立支援型地域ケア会議に参加
- ・その他、各関係会議に参加

（2）ネットワーク機能の構築

- ・大阪狭山市介護予防・日常生活支援総合事業に係る地域づくり協議体への運営支援

会議	開催日	会議内容
第1回	令和3年12月13日(金)	介護予防・日常生活支援総合事業と協議体の関係性と協議体の役割について、サミットグループワーク、その他

- ・各種ネットワークづくり

（3）調査・研究

- ・小地域ネットワーク活動、コミュニティカフェ、認知症カフェ等について情報収集

（4）資源開発

- ・地域ケア会議、地域福祉活動計画、地区福祉委員会で挙がる課題の把握
- ・買い物ツアーのコーディネート
- ・協議体で発行する大阪狭山市地域資源マップ「安心・安全！！高齢者お役立ちガイド」の作成協力

（5）啓発

- ・サロン活動等の地域の集まりに参加し、事業の説明や啓発を行った。

（6）研修関係

- ・地域づくり協議体参画団体向け研修会／いきがい・助け合いサミットin 神奈川へのオンライン視聴
- ・各種研修会（オンライン含む）への参加

【7】重層的支援体制整備事業

相談者の属性、世代、相談内容に関わらず、また課題が複雑、複合化しているなかで、福祉、介護、医療、就労、子育てなどの様々な課題を、関係機関がともに受け止め、協働して適切な支援につなげる体制の構築を行った。

(1) 多機関協働事業

複雑化・複合化した事例の調整役を行い、支援関係機関の役割分担や支援の方向性を定めたり、チーム支援のためのネットワークづくりを行った。

①支援会議（ケース検討支援会議）

出席者：自治会、訪問介護事業所、訪問看護事業所、障がい者・就業生活支援センター、生活介護事業所、大阪狭山市高齢介護グループ、大阪狭山市福祉グループ、地域包括支援センター、基幹相談支援センター、CSW

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実施回数(回)	0	2	2	2	0	0

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実施回数(回)	0	2	0	1	0	2	11

②重層的支援体制整備事業担当者会議の実施

日時：令和3年6月25日（木）

午後2時～3時30分

場所：市役所第1会議室

参加者：関連機関担当者（12名）

③地域、社会資源への働きかけ

警察署、公民館、コンビニ等と連携を図った。

(2) アウトリーチ等を通じた継続的支援事業

必要な支援が届いていない人に支援を届けるため、また継続的な関わりを持つために本人と直接対面し、信頼関係の構築に向けた丁寧な働きかけを行った。

①相談対象者（単位：人）

区分	人数
高齢者	36
障がい者	27
生活困窮者	4
子ども	0
計	67

②対応ケースの主たる内容 (単位：件)

区 分	件数
病気・けが	58
障がい	24
メンタルヘルス	60
経済的困窮	4
就労の問題	11
家族関係	48
社会的孤立	11
介護	4
DV	17
その他	24
計	261

③自宅等への訪問 (単位：件)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
実施回数(回)	0	3	9	9	10	6

	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
実施回数(回)	6	10	9	4	8	6	80

※コロナ禍のため電話、Zoom等も活用

(3) 参加支援事業

利用者のニーズや課題など丁寧に把握し、本人と支援メニューのマッチングや本人の状態や希望に沿った支援が実施できているかフォローアップを行った。

①就労への支援、フォローアップ、協力要請など (単位：件)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
実施回数(回)	0	2	2	2	1	0

	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
実施回数(回)	0	1	1	1	0	0	10

(4) 研修関係

- ・各種研修会（オンライン）への参加

【8】福祉センター事業（指定管理者）

高齢者、障がい者が安心して利用することのできる、地域に開かれた施設を目指して、施設の環境整備と各事業の充実や新たなプログラムの実施に取り組んだ。

利用者の健康や生きがいへの思いを理解し、いきいきと過ごせる時間、居場所づくりを大切に考えたサービスを行うよう心がけた。

また、老人福祉センターでは引き続き、祝日を除く第4・5日曜日、第2・4土曜日を閉館する他、公衆Wi-Fiスポットの利用を勧めるなど、利用者の利便性、満足度の向上に努めた。

そのほか、さやま荘の玄関に地域活動支援センター利用者の皆さんの協力を得て、季節ごとのディスプレイを製作し設置するほか、グリーンカーテンも行った。

施設の管理においては、エコアクション21の推進を引き続き実施し、利用者に節電、節水などの啓発を行い、環境に配慮した施設運営を行った。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、緊急事態宣言期間等のため、4月25日～9月30日は、さやま荘(お風呂のみ実施)及びさつき荘は、臨時休館を行った。それ以外の期間も三密対策、消毒等を行い、状況に応じて利用制限を行うなどの対応を行った。

(1) 大阪狭山市立老人福祉センター「さやま荘」

利用者がより利用しやすく、安心して充実した時間を過ごすことができる施設を目指し、様々な事業に取り組んだ。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年4月25日～9月30日は、緊急事態宣言期間などでお風呂のみの利用、令和4年1月27日～3月21日までのまん延防止等重点措置対策期間は利用制限で対応を行った。

また、昨年度から継続し、さやま荘通信を3回発行するなど、利用者とのつながりを保つ取り組みを行った。

また、昨年度から市内浴場施設「虹の湯大阪狭山店」の協力で割引入浴を行っていただくことで、利用者の衛生面の維持も図った。

①利用状況

(単位：人)

区 分		人数	： (前年度)
個 人	男 性	13,786	13,143
	女 性	10,322	10,963
団 体		2,023	1,786
計		26,131	25,892

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年4月25日～9月30日まで臨時休館としたが、お風呂のみ利用可とするなど開館中においても、各部屋定員の人数制限の対応を行った。

②お風呂利用者数 (単位：人)

	人数	(前年度)
延人数	11,863	7,350

※新型コロナウイルスの感染症拡大防止のため人数・時間制限を行いながら実施

期 間	回 数 (1日あたり)	時 間 (1回あたり)	定 員 (1回あたり)
令和3年 4月 1日～令和3年12月 5日	4回	30分	男女4名
令和3年12月 6日～令和4年 1月24日	6回	45分	男女8名
令和4年 1月25日～令和4年 3月24日	6回	45分	男女6名
令和4年 3月25日～令和4年 3月31日	6回	45分	男女8名

※令和3年度、虹の湯にて会員証を提示して利用した人数
延べ人数：1,223人

③血圧測定利用者数 (単位：人)

区 分	人数	(前年度)
男 性	1	—
女 性	6	—
計	7	—

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため4月～12月・3月は中止。

④さやま荘クラブの活動状況

[1]クラブ活動日程及び会員数 (単位：人)

クラブ名	活 動 日	会員数	クラブ名	活 動 日	会員数
俳 句	第1・3火曜日	5	カラオケ1	第2・4木曜日	28
手 芸	第1～3月曜日	22	カラオケ2	第1・3木曜日	18
茶 道	第1・3木曜日	8	カラオケ3	第2・4金曜日	22
園 芸	第2・4火曜日	5	パソコン	第1・3木曜日	21
新 操	第2・4月曜日	7	社交ダンス	第1～4月曜日	13
書 道	第2・4火曜日	18	フラダンス	第2・4水曜日	20
マジック	第1・3月曜日	17	英 会 話	第1～4金曜日	18
麻 雀	休館日を除く毎日	70	和 太 鼓	第1・3土曜日	10
太 極 拳	第2・4水曜日	13	漢の料理	第2月曜日・第4木曜日	15

将 棋	休館日を除く毎日	3 1	卓 球	月・水・金曜日	6 5
囲 碁	休館日を除く毎日	3 6	健康体操	第1・3月曜日	1 1
バンパー	休館日を除く毎日	4 2	気功体操	第2・4月曜日	2 9
ゲートボール	火・木・土曜日	8			
計				25クラブ	552

※(前年度) 25クラブ 674人

[2]年間参加者数 (単位：人)

	人数	⋮	(前年度)
延 人 数	2,617	⋮	4,096

⑤風呂の日

毎月26日を「風呂の日」と定め、入浴料を無料としていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施しなかった。

⑥映画会 (毎月 第1水曜日)

区 分	計	⋮	(前年度)
参加者数	24	⋮	中止

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため4月～11月と2月は中止。

⑦青春の思い出を歌う会 (偶数月 第1日曜日)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

⑧落語会 (年4回)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

⑨エンジョイレク (月2回) 1グループ
(単位：人)

区 分	人数	⋮	(前年度)
延べ参加者数	96	⋮	63

⑩エンジョイプラス (月2回) 3グループ
(単位：人)

区 分	人数	⋮	(前年度)
延べ参加者数	290	⋮	314

⑪エンジョイトレーニング（月2回） 2グループ
（単位：人）

区 分	人数	（前年度）
延べ参加者数	106	167

⑫レッツリズムエクササイズ（月2回） 2グループ
（単位：人）

区 分	人数	（前年度）
延べ参加者数	86	53

⑬その他の取り組み

[1]緑化活動の推進（グリーンカーテン・季節毎の草花）

※前年度も実施

[2]福祉センターだより 第12号の発行（令和3年10月1日）

※（前年度） 1回発行

[3]さやま荘通信の発行

第2号…令和3年 8月11日

第3号…令和3年12月16日

第4号…令和4年 3月22日

※（前年度） 1回発行（第1号）

[4]各種講座の開催

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

[5]夏季期間中（7～8月）における開館時間延長

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施せず。

[6]職場体験学習受け入れ

※今年度は希望が無かったため、受け入れ無し。

[7]福祉センター見学会受け入れ

目 的：市民団体などの福祉センター見学を受け入れ、施設の
役割・目的・事業内容などについて説明を行った。

実 施 日：令和3年12月6日（月）

場 所：さやま荘・さつき荘・障害者地域活動支援センター

団 体 数：1団体（南第一小学校3年生）33名

※（前年度） 希望なし

[8] さやま荘クラブ・同好会体験見学会の開催

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

[9] アニバーサリーサービスの実施

健康と長寿を祝い、利用者の誕生月にプレゼント（一年毎に趣向を凝らして用意）を配布した。

	人数	：	(前年度)
配布数	113	：	99

[10] ロビーコンサートの実施

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

[11] 公衆Wi-Fiスポットの利用推進

ロビー付近でWi-Fi対応の端末から、インターネットに接続できるように利用を推進した。

(2) 心身障害者福祉センター及び母子・父子福祉センター「さつき荘」

身体障害者福祉協議会や母子寡婦福祉会と連携し、クラブや会議で利用していただけるよう取り組んだ。

身体障がいのある方が集える場所づくりの支援として、身体障害者福祉協議会主催による「サロンさやま」を開催し、障がいの者の交流の場づくりを行った。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、貸室については利用人数を制限するなど対策を行った。

①利用状況

(単位：人)

区 分		人数(団体)	：	(前年度)
心 身 障がい者	男	140	：	92
	女	308	：	234
母 子		228	：	294
団 体		2,927	：	4,469
計		3,603	：	5,089

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月25日～9月30日まで臨時休館とした。また開館中においても、各部屋定員の人数制限を行った。

②さつき荘クラブ活動状況
○クラブ活動日程及び会員数

(単位：人)

クラブ名	活動日	会員数	クラブ名	活動日	会員数
絵手紙	第3木曜日	6	カラオケ	第2・4木曜日	6
リズム体操	第1・2・3土曜日	14	書道	第2・4火曜日	6
計				4クラブ	32

※(前年度) 4クラブ 34人

③ひとり親家庭相談(寡婦含む)

ひとり親家庭の生活・自立に関する相談や子どもの養育・教育に関する相談に応じ、必要な情報提供や適切な助言及び援助を行い、社会的・経済的に不安定なひとり親家庭の生活安定を図るための相談日を設けた。

相談日時：第1・3土曜日 午前10時～12時

延べ相談件数：0件 ※(前年度) 延べ相談件数：0件

④心身障がい者相談

心身障がい者(児)の生活・医療に関する相談や、手帳の申請・変更のほか、年金・身上相談等の相談に応じ、必要な情報提供や適切な助言及び援助を行うための相談日を設けた。

相談日時：身体障がい者相談 第2金曜日 午後1時～4時
知的障がい者相談 第3土曜日 午後1時～2時

延べ相談件数：0件 ※(前年度) 延べ相談件数：1件

⑤身体障がい者サロン「サロンさやま」(奇数月第3土曜日)

身体障がいのある方のふれあい交流スペースとして、身体障害者福祉協議会主催の「サロンさやま」を開設した。

(単位：人)

	人数	※(前年度)
参加者数	12	48

※5月、7月、9月、令和4年1月、3月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

(3) 障害者地域活動支援センター事業

知的障がいや身体障がいのある方の日中活動の場として、制作活動や創作活動、作業活動(プラスチック製品の袋詰め等)・カフェ活動・各種クラブ活動等を行い、心身ともに充実した時間が過ごせるように取り組んだ。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、状況に応じてカフェ活動、各種クラブ活動については中止する対応も行った。

①開所日数及びメニュー別延べ利用者人数

(単位：人)

	日数	(前年度)
開所日数(日)	240	222

	人数	(前年度)
創作活動(貼り絵・園芸他)	1,709	983
制作活動(共同制作・押し絵他)	565	402
作業活動(製品組立他)	531	622
計	2,805	2,007

②主な行事

行 事 名	実施日	実 施 内 容	参加者数
七夕まつり	7月2日	各部屋で笹などに飾り付け等	20名
夏祭り	8月6日	施設玄関・ロビーで野菜釣りやもぐらたたき、ボッチャ大会等の実施	20名
健康診断	9月29日	さやま荘で健康診断の実施	9名
ハロウィンおたのしみ会	10月29日	ハロウィン仮装大会等	17名
クリスマス会	12月17日	各部屋でビンゴ、ボッチャ、ハンドベル、カラオケ等の実施	21名
新年会	1月21日	和太鼓クラブの演奏、ボッチャ大会、茶話会等	21名
節分	2月2日	各部屋でまめまき等	11名
ひな祭り	3月4日	各部屋で施設内で茶話会	14名

③クラブ活動別参加者延べ人数

(単位：人)

	人数	(前年度)
パソコン	2	10
和太鼓	20	44
書道	10	25
陶芸	13	26
クッキング	6	12
計	51	117

(4) はばたきフェスタの開催

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

【9】地域包括支援センター事業

(1) 総合相談支援

本人、家族、近隣の住民、地域のネットワークから相談を受け、情報提供、関係機関の紹介等を行う他、相談内容によっては、本人や家族、関係者に状況把握を行い、専門的・継続的な関与や緊急の対応も行った。「介護なんでも電話相談」を月曜から金曜の9時～17時30分まで実施した。

また、ニュータウンサテライトで、10月から健康いきいき相談会を毎月1回実施した。

①相談件数

(単位：件)

区 分	拠点	初回	継続	計		(前年度)	
				拠点計	全体計	拠点計	全体計
来 所	南館	164	353	517	872	540	800
	サテライト	110	245	355		260	
出 張	南館	0	36	36	39	15	17
	サテライト	0	3	3		2	
訪 問	南館	28	739	767	970	1,040	1,223
	サテライト	1	202	203		183	
電 話	南館	456	4,950	5,406	7,268	5,778	7,154
	サテライト	62	1,800	1,862		1,376	
電 話 (介護なんでも相談)	南館	50	28	78	78	59	59
	サテライト	0	0	0		0	
電 話 (さやりんおれんじダイヤル)	南館	4	0	4	4	7	7
	サテライト	0	0	0		0	
文 書	南館	25	291	316	381	626	709
	サテライト	0	65	65		83	
その他 (メール・FAX等)	南館	0	169	169	223	285	345
	サテライト	0	54	54		60	
計	南館	727	6,566	7,293	9,835	8,350	10,314
	サテライト	173	2,369	2,542		1,964	

②相談者の区分

(単位：件)

区 分	拠点	初回	継続	計		(前年度)	
				拠点計	全体計	拠点計	全体計
本 人	南館	122	1,240	1,362	1,940	1,529	1,947
	サテライト	54	524	578		418	
家 族	南館	232	1,144	1,376	2,018	1,624	2,102
	サテライト	71	571	642		478	
介護支援専門員	南館	154	1,530	1,684	2,081	1,949	2,347
	サテライト	12	385	397		398	
介護サービス事業所職員	南館	14	443	457	624	389	483
	サテライト	0	167	167		94	
行政関係者	南館	95	1,059	1,154	1,417	1,576	1,781
	サテライト	5	258	263		205	
医療機関	南館	44	466	510	689	480	620
	サテライト	11	168	179		140	
関係機関	南館	34	492	526	738	601	764
	サテライト	9	203	212		163	
認知症疾患医療センター	南館	0	0	0	1	0	0
	サテライト	0	1	1		0	
民生委員	南館	9	65	74	140	73	108
	サテライト	5	61	66		35	
近隣・知人	南館	22	108	130	166	79	106
	サテライト	6	30	36		27	
後見人	南館	1	8	9	9	27	27
	サテライト	0	0	0		0	
その他	南館	0	11	11	12	23	29
	サテライト	0	1	1		6	
計	南館	727	6,566	7,293	9,835	8,350	10,314
	サテライト	173	2,369	2,542		1,964	

③相談内容(延べ数)

(単位：件)

区 分	拠点	初回	継続	計		(前年度)	
				拠点計	全体計	拠点計	全体計
介護相談 (介護方法等)	南館	24	58	82	120	100	113
	サテライト	5	33	38		13	
介護保険サービス	南館	556	4,206	4,762	6,412	5,296	6,556
	サテライト	135	1,515	1,650		1,260	
介護保険の地域支援事業	南館	4	15	19	23	14	15
	サテライト	0	4	4		1	
その他 保健・医療・福祉サービス	南館	44	925	969	1,346	989	1,212
	サテライト	15	362	377		223	
インフォーマルサービス	南館	83	1,146	1,229	1,805	236	345
	サテライト	22	554	576		109	
認知症予防	南館	15	50	65	131	63	68
	サテライト	4	62	66		5	
認知症(対応、治療)	南館	35	364	399	677	995	1,114
	サテライト	16	262	278		119	
ケアマネジメント等	南館	8	293	301	434	627	816
	サテライト	1	132	133		189	
虐待・権利擁護	南館	32	533	565	615	1,124	1,124
	サテライト	3	47	50		0	
生活上の相談	南館	0	8	8	8	1,551	1,894
	サテライト	0	0	0		343	
その他	南館	0	0	0	0	0	0
	サテライト	0	0	0		0	
認知症地域支援 推進員活動	南館	13	89	102	254	294	337
	サテライト	7	145	152		43	
認知症初期集中支援事業	南館	1	84	85	85	88	105
	サテライト	0	0	0		17	
計	南館	815	7,771	8,586	11,910	11,377	13,699
	サテライト	208	3,116	3,324		2,322	

(2) 包括的・継続的ケアマネジメント支援

関係機関（銀行、郵便局、警察、消防本部、保健所、リーガルサポート、弁護士会ひまわり、医療機関、地域のインフォーマルサービス（スーパー等）との連携体制づくりや介護支援専門員に対する支援を行った。
 (主な内容)

- ①地域ケア会議(事例検討型、自立支援型)の開催
- ②介護保険事業所連絡会のケアマネ部会の事務局運営
- ③市内のケアマネ事業所に情報提供や研修の実施
- ④ケアマネジャーへの個別指導や相談対応
- ⑤提供票交換会の開催
- ⑥介護保険事業所や施設の情報の配信

(単位：件)

区 分		計			(前年度)		
		南館	サテライト	全体計	南館	サテライト	全体計
支 援 数		521	133	654	747	189	936
内 訳	体制構築	220	0	220	120	0	120
	個別支援	301	133	434	627	189	816

(3) 権利擁護

認知症等で金銭的な管理等が困難な高齢者に対し、成年後見制度や日常生活自立支援事業等の活用の支援を行うと共に、南館内の基幹相談支援センター、権利擁護センターと共催で、専門職のための利用促進に向けた研修を行った。

ホームページや高齢者虐待防止パンフレット、出前講座を通じ、虐待についての認識を高めると共に、虐待事例を把握した場合は、市と連携を取りながら対応を行った。

そのほか、消費者被害や詐欺の予防のために、市の担当者や消費生活センターとも情報交換を行い、情報の共有を行うほか、市や介護関係者、循環（さやりん）バスに、詐欺の啓発漫才動画チラシを配布や掲示を通じて情報提供も行った。

①対応件数

(単位：件)

区 分	拠点	計	(前年度)
ケース数	南館	107(32)	257(56)
	サテライト	5(2)	-(-)
対応延べ件数	南館	571	1,124
	サテライト	50	-(-)

※() は、新規ケース数(内数)

②対応ケースの主たる内容

(単位：件)

区 分		拠点	計	(前年度)
虐待	身体的虐待	南館	47(8)	51(6)
		サテライト	1(0)	-(-)
	経済的虐待	南館	7(2)	13(1)
		サテライト	0(0)	-(-)
	心理的虐待	南館	6(3)	34(1)
		サテライト	1(0)	-(-)
	性的虐待	南館	0(0)	0(0)
		サテライト	0(0)	-(-)
介護放棄	南館	8(1)	18(2)	
	サテライト	0(0)	-(-)	
成年後見制度		南館	34(17)	105(30)
		サテライト	3(2)	-(-)
日常生活自立支援事業		南館	4(0)	26(9)
		サテライト	0(0)	-(-)
消費者被害		南館	1(1)	10(7)
		サテライト	0(0)	-(-)

※() は、新規ケース数(内数)

(4) 介護予防ケアマネジメント

要支援1・2の認定を受けた予防給付対象者に対して介護予防支援を行い、基本チェックリストに該当し、且つ、訪問介護や通所介護を希望した、支援や介護が必要となる恐れの高い事業対象者には、予防ケアマネジメントを行った。それぞれの支援については、地域包括支援センターだけでなく、居宅介護支援事業所にも委託を行った。

①介護予防給付

(単位：件)

		計	(前年度)
請求件数計		5,816	6,089
内訳	地域包括作成	1,772	1,985
	委託事業所作成	4,044	4,104

②介護予防ケアマネジメント(総合事業)

(単位：件)

		計	(前年度)
請求件数計		5,882 (1,146)	6,008 (1,064)
内訳	地域包括作成	2,602 (777)	2,730 (675)
	委託事業所作成	3,280 (369)	3,278 (389)

※ () 内は総数中緩和型の件数

(5) 会議関係

包括的・継続的ケアマネジメント支援を行うために、各種会議を開催すると共に、行政機関や関係機関が開催する会議に出席した。

新型コロナウイルス感染症拡大予防のため会議等は、中止や延期となることもあったが、可能な範囲で、オンラインも活用した。

区 分	計	(前年度)
開催回数(回)	193	121
参加人数(人)	1,872	1,115
参加事業所数	70事業所	191事業所

(6) 普及・啓発活動

地域や関係団体、事業所に対して、地域包括支援センターや介護保険、介護予防、虐待・権利擁護の普及・啓発を行った。又、認知症の理解促進に向け、大人だけでなく小学生に対してもサポーター養成講座を実施。コロナ禍、オンラインを活用した、新たな開催も行った。

そのほか、認知症カフェの紹介用DVDを作成し、ケアマネジャーや介護保険事業者に対し啓発を図った。

区 分	計	(前年度)
開催回数(団体)	24	18
参加人数(人)	1,138	439

(7) その他

大阪府介護者(家族)の会に参加する他、介護者家族の会の後方支援を行った。その他、市民に対してアルツハイマー月間、詐欺被害、介護予防の啓発を行った。

区 分	計	(前年度)
開催回数(団体)	19	-
参加人数(人)	632	-

(8) 認知症総合支援事業

①認知症地域支援・ケア向上事業

認知症の人やその家族を支援し、介護サービス及び地域の関係機関の連携を図る認知症地域支援推進員を配置し、個別相談や周知活動を通じ、市内における認知症ケア体制の構築を図った。

○個別相談（再掲）

内 容	計			(前年度)
	新規	継続	計	計
延べ相談者数(名)	20	15	35	33
延べ相談件数(件)	180	74	254	337

○認知症カフェ（愛称 さやりん おれんじカフェ）開催支援

内 容：電話による実施状況の把握
広報チラシの配布
新規開設に向けた働きかけ
認知症カフェの紹介用DVD作成

※新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止

○認知症サポーター養成講座（認知症安心声かけ訓練含む）

対 象：地域住民、小学生・学校教員、病院・看護学校
内 容：・認知症についての基礎知識、認知症の人・家族の気持ち
・認知症の人への接し方など

開催回数：延べ10回 ※(前年度)開催回数：延べ5回

参加者：延べ607人 ※(前年度)参加者：延べ215人

○認知症啓発事業

・アルツハイマー月間啓発（令和3年度から実施）

市役所（9月13日から30日）、図書館（9月1日から29日）で展示、チラシ配布。

公民館では、展示、チラシ配布の他、個別相談会（9月21日相談4件、22日相談5件）も実施

・RUN伴 ～たすきをつなぐ列島リレー～

※新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止

○おれんじパートナー事業

おれんじパートナー活躍の場の整備として、新たにチームオレンジに関する取り組みについて協議を行った。

○認知症ケアパス配布

認知症の症状の進行に応じて、いつ、どこで、どのような医療や介護サービスなどが利用できるのかまとめた冊子（認知症ケアパス）の配布を行った。

②認知症初期集中支援事業

認知症の人やその家族からの相談を受け、認知症サポート医と連携しながら、認知症の早期診断・早期対応に向けた支援を行った。

	今年度	(前年度)
初回相談件数 (件)	1	1
支援対象者数 (名)	2	2
チーム員会議数 (回)	4	3

【10】障がい者基幹相談支援センター事業

障がいの種別を問わず、大阪狭山市に居住する障がい者や家族等からの相談に応じるとともに、基幹相談として地域における総合的かつ専門的な相談支援の中核的な役割を担った。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、地域自立支援協議会の定例会や全体会、各部会の会議については、書面決議やオンライン会議も取り入れ、開催した。

地域自立支援協議会の各部会・ワーキングでは、地域の課題に加え、コロナ渦における対応と課題について共有した。また、支援者を対象に成年後見制度に関する研修、障がい者虐待に関する研修を行った。

また、医療的ケアが必要な障がい児が利用できる入浴支援を事業化し、新たな課題について、福祉関係者だけではなく、医療の関係者を交え協議した。

○障がい者相談支援事業

①利用者数

(単位：人)

区 分			計	(前年度)
障がい者			121	126
障がい児			52	81
計			173	207
障がい区分 (再掲)	身体障がい	障がい者	8	11
		障がい児	0	1
	重症心身障がい	障がい者	0	0
		障がい児	3	7
	知的障がい	障がい者	33	41
		障がい児	15	27
	精神障がい	障がい者	41	54
		障がい児	1	1

障がい区分 (再掲)	発達障がい	障がい者	9	6
		障がい児	3	15
	高次脳機能障がい	障がい者	1	4
		障がい児	0	0
	その他	障がい者	29	10
		障がい児	30	30

②支援方法 (単位：件)

区 分	計	(昨年度)
訪 問	386	603
来 所	271	281
同 行	76	92
電話等	1,538	1,711
個別支援会議	15	80
関係機関	14	9
その他	32	1
計	2,332	2,777

③支援内容 (単位：件)

区 分	計	(昨年度)
福祉サービスの利用等	1,088	1,028
障がいや病状の理解	148	694
健康・医療	198	283
不安の解消・情緒安定	648	217
保育・教育	24	88
家族関係・人間関係等	28	178
家計・経済	98	76
生活技術	9	72
就労	58	77
社会参加・余暇活動	5	17
権利擁護	16	44
その他	12	3
計	2,332	2,777

④会議

○地域自立支援協議会全体会 ※（前年度）1回開催 参加者22人

実施日： 書面決議 回答者：22人

内 容：

1. 令和2年度 大阪狭山市地域自立支援協議会の取組みについて報告
2. 令和3年度 大阪狭山市地域自立支援協議会の取組み案
3. 令和3年度 大阪狭山市地域自立支援協議会体系図案

○地域自立支援協議会定例会 ※（前年度）4回開催 延べ参加者 51人
<第1回>

実施日： 書面決議 回答者：9人

内 容：

1. 令和2年度 大阪狭山市地域自立支援協議会の取組みについて報告
2. 令和3年度 大阪狭山市地域自立支援協議会の取組み案

<第2回>

実施日：令和3年7月20日（火） 参加者：10人

場 所：市役所別館 第4会議室

内 容：

1. 令和3年度全体会の報告
2. 専門部会 進捗状況の報告
3. 精神障がい者理解促進事業、重層的体制整備事業におけるコーディネーターの現状の動きについて

<第3回>

実施日：令和3年10月19日（火） 参加者：13人

場 所：市役所別館 2階 作業室

内 容：

1. 専門部会 進捗状況の報告
2. 定例会参画機関の各課題について

<第4回>

実施日：令和4年1月18日（火） 参加者：14人

場 所：市役所別館 1階 第4会議室

内 容：

1. 専門部会 進捗状況の報告
2. 定例会のメンバー構成について、支援学校と地域の学校間の転校に関する手続きについて

○地域自立支援協議会部会・ワーキング

<相談支援部会> 5回開催 ※（前年度）4回開催

実施日：令和3年 7月16日（金）オンライン開催

9月10日（金）、11月19日（金）

令和4年 1月14日（金）、3月18日（金）

<地域包括ケアシステム部会> 3回開催 ※（前年度）4回開催

実施日：令和3年 6月28日（月）オンライン開催

10月25日（月）、12月20日（月）

<こどもむすぶ会> 5回開催 ※(前年度) 5回開催
 実施日：令和3年 5月26日(水) オンライン開催
 7月14日(水) オンライン開催
 11月24日(水)
 令和4年 1月26日(水) オンライン開催
 3月15日(火) オンライン開催

<日中活動事業所部会> 3回開催 ※(前年度) 4回開催
 実施日：令和3年 11月17日(水)
 令和4年 1月19日(水) オンライン開催
 3月16日(水) オンライン開催

<就労支援部会 南河内南就業・生活支援ネットワーク>
 3回開催 ※(前年度) 3回開催
 実施日：令和3年 6月16日(水) オンライン開催
 12月15日(水)、
 令和4年 3月18日(金) オンライン開催

<医療的ケアワーキング> 4回開催 ※(前年度) 8回開催
 実施日：令和3年 4月15日(木)、6月17日(木)
 9月9日(木)、12月16日(木)

⑤事業所見学会

<事業所見学会> (日中活動事業所部会)
 実施日：令和4年3月7日(月)～3月31日(木)
 場 所：市内15カ所の各事業所
 内 容：各事業所で、各事業所の特徴や取り組みについての説明

○指定特定相談支援事業

(単位：件)

区 分	計	(前年度)
新規契約者数	1	5
利用(計画作成)	34	47
継続(モニタリング)	56	83

○指定障害児相談支援事業

(単位：件)

区 分	計	(前年度)
新規契約者数	1	3
利用(計画作成)	13	28
継続(モニタリング)	25	47

○指定一般相談支援事業

地域移行支援（単位：件）	
区 分	年計
新規契約者数	0
地域移行支援利用	0

※前年度実績なし

地域定着支援（単位：件）	
区 分	年計
新規契約者数	0
地域定着支援利用	0

※前年度実績なし

【11】生活サポートセンター事業（生活困窮者自立支援事業）

生活に困りごとや不安を抱えている生活困窮者に対して、どのような支援が必要かを相談者と一緒に考え、具体的な支援プランを作成し、寄り添いながら自立に向けた支援を行った。

また、住居を喪失した方に一定期間、衣食住等の日常生活に必要な支援を提供する、一時生活支援事業の利用に関する手続きの支援や住居確保給付金の支給に関する相談支援を行った。

家計改善支援事業では、家計状況の「見える化」と根本的な課題を把握し、状況に応じた支援計画の作成、相談支援、関係機関へのつなぎ、必要に応じて貸付のあっせん等を行い、早期の生活再生を支援した。

(1) 自立相談支援事業

(単位：件)

区 分	計	(前年度)
新規相談受付件数	124	144
プラン作成件数	47	84
就労支援対象者数	18	34
住居確保給付金利用数	5	18
一時生活支援事業利用数	2	1

(2) 家計改善支援事業

(単位：件)

区 分	計	(前年度)
プラン作成件数	12	22

(3) 支援調整会議

プラン案を共有したり、プラン案の適切性を協議し、支援終了時にはプラン（支援）の評価を行った。

また、支援調整会議での協議を通して、支援の質を高めるとともに、地域に不足する社会資源について把握し、社会資源の創出に向けた検討を行った。

(単位：件)

区 分	計	(前年度)
開催回数	12	12
案件数（評価ケース含）	63	97
決定・確認数	47	84

【12】 就労準備支援センター事業（生活困窮者自立支援事業）

生活リズムが整っていなかったり、他者とのコミュニケーションや社会との関わりに不安があり、経済的または社会的、その他の理由により、すぐには就労が難しい人を対象に、「日常生活自立支援」「社会生活自立支援」「就労自立支援」を計画的かつ一貫して行ない、一般就労に従事する準備としての基礎能力の形成や技法、知識の習得等を促した。

また、生活サポートセンターや関係機関との連携強化を図った。

① 支援者数

(単位：人)

区 分	計	(前年度)
生活困窮者	52	73
生活保護受給者	10	0
計	62	73

② 支援プログラム

区 分	計	(前年度)
職業適性検査(GATB等) (回)	3	2
職業興味検査(VRT等) (回)	3	3
職場見学 (回)	0	0
就労体験 (回)	0	0
農業体験 (回)	0	0
ボランティア体験 (回)	0	0
ハローワーク等同行(回)	4	7
他機関講座 (人)	2	0

PC講座（人）	34	39
PC講座（延べ回数）（回）	182	321
求人検索（人）	21	
求人検索（延べ回数）（回）	139	
応募書類作成（回）	32	7
面接練習（回）	4	1
面接同行（回）	0	0
個別活動（回）	78	
定着・見守り支援（回）	8	6
保護者対応（連絡）（回）	2	0
保護者対応（面談）（回）	0	0
居場所（延べ人数）（人）	96	150
その他	139	270

③就職・就労者数（単位：人）

区 分	計	(前年度)
正規雇用	0	0
非正規雇用	5	0

④相談件数

区 分	計	(前年度)
実人数(人)	32	61
延べ件数(件)	42	76

⑤就労体験受入事業所開拓数（単位：社）

区 分	計	(前年度)
雇用あり	0	0
雇用なし	0	0

⑥その他の活動（単位：人）

行 事 名	実施日	実 施 内 容	参加者数
居場所プロジェクト(35回)	毎週金曜日	勉強会やセミナー、スキルアップのプログラム、交流会等を行った	(再掲) 74
居場所フリー(13回)	毎週火曜日	自分のペースに合わせて過ごしたり、興味のあることに取り組んだ	(再掲) 22

4. その他

【1】地域ふくし協力金（社会福祉協議会会員会費）

社会福祉協議会会員会費を地域ふくし協力金として、地区福祉委員会の協力のもと実施した。

市民のみなさまから集められた地域ふくし協力金（社協会員会費）は、貴重な自主財源として地域福祉事業に活用した。

また、組織構成会員は、社会福祉に関する活動を行う団体・機関・事業者等に幅広く参画していただき、その中から社協の議決機関である評議員を選出し、社協の運営に参画してもらっている。

	正会員	賛助会員	特別会員	組織構成会員	計
地 区	5,057人	58人	27人	—	5,142人
	5,057,000円	174,000円	135,000円	—	5,366,000円
その他	60人	17人	5人	13団体	95人(団体)
	60,000円	51,000円	25,000円	65,000円	201,000円
計	5,117人	75人	32人	13団体	5,237人(団体)
	5,117,000円	225,000円	160,000円	65,000円	5,567,000円

※(前年度) 5,451人(団体) 5,825,000円
 (正会員…5,314人 5,314,000円、賛助会員…87人 261,000円、特別会員…34人 170,000円、組織構成会員…16団体 80,000円)

【2】善意銀行事業

市民のみなさまから寄せられた寄付金等について、預託者の意思を十分に配慮・尊重し、社会福祉活動等に活用した。

また、払い出しとして、平成22年度から配布を開始した『救急医療情報キット』の追加作成を行った。

(1) 啓発宣伝

広報「さやま」及び「大阪狭山市社協だより」に掲載

(2) 現金の受け入れ・払い出し

(単位：円)

預託種別	繰越金	受け入れ	払い出し	差引残高
社会福祉	22,964,940	561,312	375,073	23,151,179
老人福祉	3,020,698	0	0	3,020,698
身障福祉	2,837,803	0	0	2,837,803
母子福祉	35,252	0	0	35,252
知的障がい福祉	1,198,433	30,000	0	1,228,433
精神障がい福祉	0	0	0	0
計	30,057,126	591,312	375,073	30,273,365

次年度繰越金 30,273,365円

【3】大阪狭山市福祉基金

(1) 運用状況

(単位：円)

科 目	金 額	説 明
1. 【福祉基金積立金】	【100,300,000】	【福祉基金原資】
2. 収益	【2,778,626】	
①前年度繰越金	2,420,674	前年度よりの繰越金
②受取利息	357,952	3年度期中受取利息
3. 支出	【357,952】	
	357,952	小地域ネットワーク事業活動費
4. 繰越金(2-3)	2,420,674	次年度繰越金
計(1+4)	102,720,674	

(2) 貸借対照表 (令和4年3月31日現在)

(単位：円)

借 方	貸 方
預貯金及び国債	
(郵便局)	
・普通預金 371,071	1. 福祉基金積立金 100,300,000
小計① 371,071	2. 次年度繰越金(果実) 2,420,674
(大阪南農協)	
・普通預金 32,349,603	
・定期預金 10,000,000	
・定期預金 10,000,000	
小計② 52,349,603	
(りそな銀行)	
・国債 50,000,000	
小計③ 50,000,000	
計(①+②+③) 102,720,674	計 102,720,674

【4】共同募金運動（赤い羽根共同募金）「大阪狭山地区募金会」

「じぶんの町を良くするしくみ」を全国スローガンとして、だれもが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らし続けることができるよう地域福祉の一層の充実を図るため、10月1日～12月31日（全国一斉）にて「共同募金運動（歳末たすけあい募金を含む）」を展開した。

（1）会 議

- ①役員会
- ②監査
- ③共同募金事務説明会
- ④歳末たすけあい募金配分委員会

（2）一般募金

各市町村の募金活動で集められた寄付金は、一旦大阪府共同募金会に集められ、大阪府内の民間福祉施設、福祉団体や社会福祉協議会が行う事業に配分される。

本市においても、募金額の約60%が次年度に配分され、市内の高齢者福祉活動や福祉育成・援助活動など地域福祉活動の貴重な財源として活用した。

○実施期間：令和3年10月1日～11月30日

募金種別	戸 別	学 校	街 頭	法 人
金 額	1,886,614円	140,179円	456,648円	274,300円
協力団体数	63地区	11校	194件	124社
募金種別	バ ッ ジ	職 域	その他	計
金 額	73,000円	94,627円	37,886円	2,963,254円
協力団体数	——	6団体	——	398団体等

※(前年度) 3,000,925円
 (戸別…1,984,662円(62地区) 学校…168,483円(13校)
 街頭…434,884円(172件) 法人…198,300円(78社)
 バッジ…73,000円 職域…111,116円(6団体)
 その他…30,480円)

（3）歳末たすけあい募金

募金活動で集まった寄付金は、大阪狭山地区募金会より、市内の地区福祉委員会や福祉施設及び各種団体が行う事業に配分した。

募金額の約31%を地区福祉委員会に、約69%は市内の福祉施設及び各種団体からの申請を受け付け、歳末たすけあい募金配分委員会の審議・承認の後、配分を行った。

○実施期間：令和3年12月1日～12月31日

募金種別	戸別	法人	職域・その他	計
金額	1,477,271円	130,800円	33,326円	1,641,397円
協力団体数	63地区	88社	4件	155団体等

※(前年度) 1,629,938円
(戸別…1,514,650円(61地区) 法人…81,800円(50社)
職域・その他…33,488円(4件))